

平成３０年度
議員と語ろう会の結果報告書

- 八幡会場 平成３０年１０月１７日（水）１９：３０～
相生公民館
- 高鷺会場 平成３０年１０月１７日（水）１９：３０～
向鷺見集会所
- 明宝会場 平成３０年１０月１７日（水）１９：３０～
ぬくもりの家
- 和良会場 平成３０年１０月１７日（水）１９：３０～
上土京集会所
- 白鳥会場 平成３０年１０月１８日（木）１９：３０～
中西区民センター
- 大和会場 平成３０年１０月１８日（木）１９：３０～
大和西公民館
- 美並会場 平成３０年１０月１８日（木）１９：３０～
健康福祉センター
さつき苑

平成３１年１月

郡 上 市 議 会

平成30年度 議員と語ろう会の主な意見

班 名	郡上市議会（1日目 1班）
開催日時	平成30年10月17日（水）19：30 ～ 21：15
開催場所	八幡町 相生公民館
意見交換で出された意見	
○避難所について ・避難所へ行くと情報がわからなくなるので、逆に不安である。避難所に最低限の情報がはいるようにしてほしい。各避難所にテレビを設置するなど。 ・避難所のほうが家よりも危険であると感じる。また避難所へ行く道中も危険に思われ、避難をためらった。 ・炊き出しをしたほうがよいのかなど心配した。他がどういう状況かわからない。 ・避難時に一番困ったのがトイレ。下水のマンホールを利用するなど計画的に整備してほしい。 ・避難所にテレビ等ないため、ケータイが貴重な情報源になったが、電源が切れるとそこから一切情報がはいらなくなる。避難所でケータイの電源が確保できるようにしてほしい。 ・避難所に明確なリーダーがいない。避難所内でも動き・意識がバラバラであった。自治会がそれぞれやってもできないので全体の構想・避難所運営のシステム作りを求める。 ・お年寄りや小さい子どもを連れた家族に配慮して、パーテーションがあるといい。 ・避難所にするのに不安な場所を、なぜ避難所にしているのか。きちんと調査をして決められているのか。現状を把握しているのか。一時避難所など、山際で土砂崩れの心配があるような場所にある。 ・公民館にIHはあるが、ガスがない。各自でカセットコンロをもってきた。（備蓄品にカセットコンロがほしい） ・避難所に指定されているが、トイレが半分壊れている。暖房器具も壊れている。 ○災害時の対応について ・市の職員の巡回時に、最初は男性2人だったが、後から健康福祉部の女性の方も一緒に回られていた（保健師の方？）のがよかった。 ○広報無線について ・使い方を知らない人（若い世代）多い。停電時に聞けなかったというところもあるが、そもそも電池（電源？）をいれてなかった人もいるのでは。広報のお知らせのどこかで、受信機の電池入れましょうとお知らせしては。 ・山の上と下では、上に向かっては聞こえるが、下に向かっては聞こえない。もう1本立てて聞こえない地区にも聞こえるようにしてほしい ・小野1丁目という番地は正確にいうとないが、広報で「小野、及び小野2丁目～8丁目」と表現されるとややこしいので、「小野1丁目～8丁目」と放送してほしいとお願いして流してもらった。地名番地など臨機応変にわかりやすいようにしてほしい。	

○エリアメールについて

- ・広報無線のあとにエリアメールがくるが、2 時間後にメールがくることもあった。すぐにメールがくるようにしてほしい。

○倒木について

- ・倒木しそうなところ、電線にもうすぐでかかりそうなところが多く見受けられる。積雪時に停電になると予想されるので、年内の対応を求める。

○ライフライン整備事業について

- ・今の木の除去の範囲では、また台風・豪雨時に倒木の被害があるのではないか。倒れる前に危険な箇所は除去できないのか。

○災害講座について

- ・図上演習講座（D I G）や、避難所運営ゲーム（H U G）を取り入れてはどうか。実際の災害が起これると、避難所がぐちゃぐちゃになる。1 年で人も変わるので、毎年開催してもらえるといい。

○空き家の除去について

- ・防災の観点から空き家の除去の補助があればいい。

○災害時の議員の行動について

- ・なにをしているのか。なにをしていたのか。

○西側県道・橋について

- ・高速道路があるからいらないというのは国レベルの考え方。生活している人は困っている。バイパス機能必要。橋も含めて。

班 名	郡上市議会（１日目 第２班）
開催日時	平成３０年１０月１７日（水）１９：３０ ～ ２１：００
開催場所	高鷲町 向鷲見集会所
意見交換で出された意見	
○避難所について ・避難勧告に対して「どーもないでええ」という声が多かった。避難意識が浸透していない。 ・一方で、全地区一斉避難されたら、避難場所に入りきれない。 ・障がい者に対する雰囲気が悪い。薬も飲めない。おむつのにおいがする。 ・プライバシーの確保のため、仕切り板等の対策を願いたい。 ・赤ちゃんがいる人は、迷惑を気にして避難されない場合がある。赤ちゃん世帯専用の避難所を検討してほしい。 ・高鷲の図書館を避難所にできないのか。 ・他の避難所に行っている方の安否確認など把握ができない。避難所間で連絡を取り合った。 ・地区内であっても緊急性の高い場所、世帯など詳細な区分けを行うなど、個別の行動計画を検討し周知されたい。また、現状では長期の避難には耐えられない。 ・温泉の開放は評価できる。できれば民間の温泉の開放もお願いしたい。 ○災害時の情報伝達について ・停電復旧の正確な情報が欲しかった。 ・災害時には広報車により、情報を伝達していただけないか。 ・（指向性のあるスピーカーもある。）広報無線が非常に聞き取りにくい。何とかならないのか。 ○停電について ・停電が長期にわたると、気持ちもずさんでくる。生活を守るという視点が大切。 ・太陽光発電や小水力発電の電力を停電時に活用することはできないか。この地域は小水力発電の潜在的条件はある。 ・北海道のコンビニでは、車から電源を取り営業されていた。市内の商店でもそうした方法はないか。 ○停電予防策について ・電線付近の倒木を少なくするために、道路から何メートルかは伐採する事業を進めてほしい。財源は電力会社や国からお願いしたい。 ○えん堤の改修について ・岩高水路のえん堤の改修をお願いしたい。取水口があり、管理が地区に任されているが、非常に危険な場所で、いつ事故が起きても不思議でない場所である。増水時に土砂が詰まる。 ○災害後の復旧や検証について ・土砂の流入や倒木がひどく、いまだにそのままになっている。積雪期に向けて早急な対応が必要。	

- ・市役所等で災害後の検証を行っていると思うが、そうした検証結果や課題、対応策について早い段階で公表してほしい。

○自主防災会について

- ・防災会の研修を受けたがそれなりに効果はあるが、各地域に合った研修にすべき。

○地域文化の発掘を

- ・観光資源の開発、伝統文化など故郷の発見を。歴史資料館には高鷲の碑との意見が反映していないのでは。資料整備や研究発表、会報の発行を期待する

班 名	郡上市議会（１日目 第３班）
開催日時	平成３０年１０月１７日（水）１９：３０ ～ ２１：００
開催場所	明宝 めくもりの家
意見交換で出された意見	
○大災害を措定した要望について ・南海トラフなど広域大災害を想定した防災の対応について提案 ①大災害の軽油確保のための条例の必要性 ②自助による取組、被害の軽減にむけた活動として「防災協働社会」構築 ③マンホールトイレよりも安価な段ボールトイレの導入 ④インターネット通信の設定（避難所）工事が終わらないうちに次の台風シーズンが訪れる。 ○建設事業の整備について ・国道の歩道整備改修の設計が終わり予算が付いたと聞くが、通学路として歩道が狭いので両方に付けて欲しい。また、現在要望している箇所は、ほんの一部なので、引き続き住宅密集地などの国道の歩道整備をして欲しい。 ・透析を受けてみえる人をはじめ大災害になった時、援助を必要とされる方にとって、道路の不通は大変なことである。 ・国道以外の別の道（抜け道）を検討してほしい。 ・道路沿いの木をもう少し切って欲しい。景観もよくなるし、日当たりもよくなる。今後、木を切る人もいなくなるので、今からやっていかなければいけないと思う。 ・通学路等にあるブロック塀が危険なので、本来であれば所有者の責任で改修するものであるが、市の方でも考えて欲しい。 ・国道４７２号は、災害時に不通になっても他の道がない。有穂中坪線の進捗状況と別の道（抜け道）を考えて欲しい。 ○交通マナーの対策と要望について ・有料道路の無料化に伴い交通量が非常に多くなった。特に夜間の大型車両（トレーラー等）がスピードの出しすぎで振動がひどく、橋の近くのマンホールのところなどは、すごい音がする。昼間でも歩いていてもあおられるようなことがある。時には、道路が沈んで行くようなおとがする。スピード規制をするような注意喚起の看板でもつけてもらいたい。減速を促してもらいたい。 ○防災について ・東日本大震災の教訓を活かし、市民協働センターの中に災害対策課等を設置し、市民に災害対策の指導を行える体制を確立できないか。 ・台風による倒木が相次ぎ送電線が切れ、停電による不自由な生活が続いた。そんな中、美並の子宝の湯、大和、高鷲の温泉の無料開放してもらいうれしかったが遠くまで行かなく	

ても民宿、旅館等近場の温泉を利用出来るような方法を考えてもらいたい。

○産業振興について

- ・バイオマス等の木を有効に活用することも考えて欲しい。
- ・現在、木が負の財産になっているが、消費することを考えて欲しい。
- ・空き家のリフォーム、新築と地産地消で郡上木材を使ってほしい。

○地域振興について

- ・郡上合市の未来が繋げるよう、税収が多く入る施策を考えて欲しい。
- ・寒水の掛け踊りの補助金をもう少し頂けるよう考えて欲しい。
- ・観光立市に向けて、外国語の養成をして欲しい。

班 名	郡上市議会（１日目 第４班）
開催日時	平成３０年１０月１７日（水）１９：３０ ～ ２１：００
開催場所	和良町 上土京集会所
意見交換で出された意見	
○道路の復旧、整備について ・ ７月豪雨災害や台風２１号で倒木や土砂災害による影響で、集落が孤立する可能性があるので、道路の復旧、整備を実施して欲しい。 ・ バス停に関して、新たな橋が出来て仮設のバス停が設置されたが、場所が１箇所では不便また危険箇所であるため、２箇所か１箇所であれば中央付近に設置して欲しい。 ・ 火災時には、消防車両が通ると道路が狭いため、消火活動に影響がある他、住民や新たに訪れた移住者に対しても不自由さを感じさせるので、生活道路の整備を進めて欲しい。 ・ 国道の舗装が隆起しているが、改修をして欲しい。 ・ 濃飛横断自動車道の整備促進に関わる状況はどうか早期の実現を望むが。 ○倒木処理について ・ 倒木による影響を中部電力・ＮＴＴ・ケーブルＴＶで連携して欲しい。 ・ 中部電力の電線、ケーブル等に蔓（つる）が巻きついたりしているがＴＶに影響はないのか。 ・ 台風２１号・２４号などによる倒木は、今後、冬期に向け雪害による影響での倒木や土砂災害を誘発し、負の連鎖になる可能性がある所以对策は。 ○避難所について ・ 避難準備情報・高齢者等避難開始に従い避難をするが、避難所での高齢者や障がい者への受け入れ先や環境を充実させて欲しい。 ・ 一時避難所は地域の集会所が主であるが危険区域に指定されている所もあるので、民間の安全な場所や空き家など改修して活用できないか。 ○防災について ・ 水道（上水道）が災害時に止まると消火栓も止まり機能を果たせない箇所が２箇所該当するが対応は。 ・ 市のハザードマップでは、この土京地域はレッドゾーンが多いが、対策はあるのか。 ・ 倒木の恐れのある箇所はおおよそ想定できるので、あらかじめ地権者と交渉をしたらどうか。 ○井戸の整備について ・ 根本地域のろ過設備が地元負担によって整備したが、現状は機能していない。 ・ 井戸から直接タンクを入れると濁らないので検討して欲しい。 ○蜂の巣の駆除について ・ 携帯電話の電波塔に蜂の巣があるので、早急に駆除して欲しい。 ○バス停の設置場所について	

- ・バス停に関して、新たな橋が出来て仮設のバス停が設置されたが、場所が1箇所では不便また危険箇所であるため、2箇所か1箇所であれば中央付近に設置して欲しい。

○農業に対する補助・援助について

- ・高齢化や若者の農業離れの状況下で、農地など中山間地維持のために、農業法人などへの補助、援助を強化されたい。

○交通手段について

- ・高齢者の運転免許返納に伴う、交通手段として、自己負担をしてでも、病院や買い物へ行くための充実をお願いしたい。

○その他

- ・和良小学校のフェンスが壊れているので修復して欲しい。

班 名	郡上市議会（２日目 第５班）
開催日時	平成３０年１０月１８日（木）１９：３０ ～ ２１：３０
開催場所	白鳥町 中西区民センター
意見交換で出された意見	
○建設事業の復旧、整備について ・ 県道石徹白前谷線の台風による損傷箇所（舗装剥離）が直してもらえない。県道であるが、早く直してもらえるよう働きかけて欲しい。 ・ 朝日へ抜ける県道も土砂崩れのままである。 ・ 道路舗装、改修工事について、特定の地域、箇所へ片寄らないようにして貰いたい。 ・ 自動車道建設にかかる建設委員会が過去には、何度となく開催されたが、最近は少ない。建設委員会は、大変良い会議体なので、今後も地元の意見を聞く組織として継続を願う。 ・ 中西地区の通学路に街灯が少ないので整備を望む。 ・ 西坂中西の改良工事の進捗状況を地元へ詳しく知らせて欲しい。 ・ 用水路工事で用途が農業用、生活用、工業用等色々あり、用途によって補助率が違うので、なんとかならないのか。 ・ 市の事業では、用地や立木補償額が少ないことから工事が思うように出来ない。 ・ 一般道の側溝、用水路に土砂がたまり流れが悪くなっている。区民も共同作業を行っているが、行政から指導を願う。 ・ 北部斎場へのアクセス道の整備を望む。 ・ 狩野商店の裏山に水路があり、土砂崩れの危険あり。 ・ 国道１５６号線の向小駄良ループ橋下の交差点について、三叉路のため、特に北進車の車線が明確でないため路面や道路標識でしっかり表示してもらいたい。 ○倒木処理について ・ 倒木、土砂崩れなど台風被害の普及を早急にお願いしたい。降雪の季節になるので倒木状況の立木の処理を願う。 ○敬老会について ・ 敬老会の実施について（向小駄良）会員の意識が低い集まりが悪い。年齢を上げるか、規模の縮小はどうか。石徹白地区は、楽しみにしている。恩地地区開催継続を望む。中西地区も今までどおり存続を望む。 ○農業振興について ・ 中山間地域の里山集落を守り存続させるには、ＪＡと行政がしっかりタッグを組んで検討、実践をして欲しい。	

○防災対策について

- ・牛道川流域に住んでいるが、川の増水が不安である。早めの避難情報はありがたい。
- ・防災士資格を取得したが、活躍の場がわからない。
- ・郡上市は、原発事故を踏まえた対策はどうなっているのか。
- ・今回この避難所で40名が、一晩過ごしたが、一晩で充分に大変さを味わった。長期に渡る避難はかなり難しいと思う。
- ・前谷地区には、公的施設の避難所が無いので何とかして貰いたい。
- ・大雪の時の消火栓の確保や災害の避難はすべて自己責任であることの認識を市民各自が強く持って貰うことが大切。

○文化振興について

- ・文化の交流や伝承、研究について、市政の各地域との繋がりを待って、市内一体となつての活動、実践を望む。

○その他について

- ・広報無線の変換、新規加入などの説明をして貰いたい。
- ・このような意見交換は、有意義なことであり、今後も開いて欲しい。

班 名	郡上市議会（２日目 第６班）
開催日時	平成３０年１０月１８日（木）１９：３０ ～ ２１：１９
開催場所	大和町 大和西公民館
意見交換で出された意見	
○消防団活動について ・消防団に対し、郡上市からの情報が入りにくい。うまく連携が取れていない。 ・消防団として全方面隊で統一的な動きがない。避難は各家で判断していることが多い。 ・消火栓が消防の訓練で使用できない。古いため、使用すると水が汚れ地元からクレーム ・暗渠排水ばかりだと消防の利水ができない ・防災士・防災リーダー講習を郡上で開けないか ○避難について ・一時避難所が危険。雨漏りする所や、ハザードマップの危険個所の中に避難所があったりする ので考えて欲しい。 ・避難指示などわかりにくい。個人で判断している。知事が避難した人が少ない為激怒したとい う話を聞いたが、個人個人違うので、統計で判断されるというのは矛盾を感じる。 ・避難所運営に住民が慣れていない。市の職員が来ているが、本来は住民で行うものと思う。今 回は１～２日で済んだので良かったが、運営の方法を小中学生のうちから学んだ方が良くと思 う。 ・HUG は有効である。 ○建設事業の復旧、整備について ・奥田洞を早く治してほしい。７月に土石流が発生した。まだ山に土砂が残っているのでそのま まにせず、来年にでも整備してほしい。 ・倒木を防止するための立木の伐採に個人負担が大きい。保証金など出せないか。 ・谷や河川に入っている倒木の調査をしてほしい。 ・夫婦橋のかさ上げをしてほしい ・大和・美並線改良促進 ○偕楽園の移転について ・偕楽園はいつ移転するのか	

班 名	郡上市議会（２日目 第７班）
開催日時	平成３０年１０月１８日（木）１９：３０ ～ ２１：００
開催場所	美並町 健康福祉センターさつき苑
意見交換で出された意見	
○防災について ・河川増水時の危険水位と危険度が実感できるような仕組み(シュミレーション)が考えられないか。土砂崩落の危険がある場所の地質調査をして、避難時に客観的な判断ができる基準を作れないか。 ・防災士の資格を持っている人が活動しやすい環境、例えば夜間の会議開催や活動への手当てなどを考慮して欲しい。 ○避難所について ・自治会ごとに避難所が設置できないか。指定された避難所の中には、土砂災害の危険性がある施設もあるが、どのように考えているか。 ・避難所の地区公民館は土砂災害の危険があるので移転したいので、補助金制度がある建物に加えて、土地の取得費用などの補助制度を創設して欲しい。避難時に防災情報をスマホなどで簡単に取得できる方法が工夫できないか。 ・避難所の健康増進センターは駐車場が狭く、幼児を連れて避難したが時間を持て余してしまった。避難所の区域やあり方を見直す必要があるのではないか。 ○小学校統廃合について ・少子化が進み、園児数が各歳児３０人以下になっているので、保護者の中には吉田小学校と三城小学校の統合を望む声がある。 ○建設事業の復旧、整備について ・郡南中学校裏の道路整備後の山の法面が崩壊する恐れがあり、市に対策を要望している。 ・東海北陸自動車道の４車線化で降雨が一旦水となって河川に流れることになるが、その危険性を考えておく必要があるのではないか。	

アンケートご意見

（八幡会場）相生公民館

番号	意 見	年代・性別
1	・テーマがはっきりしていてよかった。 ・時期・時間は現状でよい。	60代・男性
2	・防災という課題のため今までにない良い意見が多く出された	70代・男性
3	・時期・時間・場所ともに妥当	60代・男性
4	・この会をもう少し多くしてほしい。 ・倒木によりかなり荒れた状態で、倒れ掛かった木もあるため、至急対処をお願いしたい。冬になって雪が積もるとさらなる災害になると思う。	50代・男性

（大和会場）大和西公民館

番号	意 見	年代・性別
1	・今年の災害について、郡上では大きな被害はなかったが、今後の対策について方針を定めて発表してほしい。 ・備蓄資材を有効に使用できるようにしてほしい。短期間の通行止めでも、コーヒーやスーパーの食料品が無かった。	50代・男性
2	"・常任委員会報告：各委員会の担当域の状況を資料として配布した方が委員会の働き等が理解でき市民に知ってもらえるのでは。（説明は時間の事もあるので行わなくても）（※議会だよりで知ってもらえるかもしれない） ・語ろう会の流れとして、何分地元（地域）からの要望的な要素が伺われたと思う。それで良いのかもしれないが、語ろう会の目的としてはどうか？参加者のとらえ方にもよるが・・・。"	60代・男性
3	・今後とも回数を増してお願いします。	60代・男性

（白鳥会場）中西区民センター

番号	意 見	年代・性別
1	・全体で話すのもいいが、グループに一人ずつ議員が入りワークショップ形式はいかがでしょう。 ・平日昼間に女性、母親の声を拾ってほしい。中高生と語り合う会も！	40代・男性
2	・少人数の良さがある。考えのある、意識の高い方の意見が聞けたことが評価できます。	60代・男性
3	・会場を各地区に振り分けて会を開くことは大変いいことだと思う。参加者は少なくとも個々の考えが出し合える。時間をもう少しとっていいので、議員個人や議会としての思いを出してもらえるとより懇談としての価値がでるのではないかな。	70代・男性
4	・人生の大先輩の発言や様子がうかがえてとても勉強になりました。ありがとうございました。	30代・女性
5	・開始時間を19時ごろからにしてほしい。大変勉強になる会でした。	70代・女性

(高鷲会場) 向鷲見集会所

番号	意 見	年代・性別
1	・この会が定着できるよう各地域においてもっと住民にアピール度を上げると良い。	60代・男性
2	・時期を年度末にしたらどうか。他地域の議員さんと話せるのでよい。	40代・男性
3	・少人数であってもこの方法を続けるべき。	60代・男性
4	・2班に分かれて意見を出し合い良い会であった。	60代・男性

(美並会場) 健康福祉センターさつき苑

番号	意 見	年代・性別
1	・それぞれの自治会で災害の意識と建物等物理的な問題をよく把握されている。	50代・男性
2	・次期、時間、特に問題なし。	70代・男性
3	・質問に丁寧に答えて頂き良かった。	60代・男性
4	・もう少し人が集まってもいいかなと思った。	60代・男性

(明宝会場) ぬくもりの家

番号	意 見	年代・性別
1	・議員さんの一言が身近に感じた。	60代・男性
2	・議員と語ろう会の時期は、7月（盆前）と10月位年2回やると良い。もっと人数も多くなると思います。 ・若者が多い郡上市にして欲しい。若い人が見えると活気がある郡上市になる。	60代・男性
3	・なかなか良かったと思います。時間的にも良かったと思います。	50代・男性
4	・今夜の意見回答ができれば、お知らせ願いたい。	50代・男性
5	・国道472号以外の市道、県道の整備（明宝は1本のため、八幡町境から明宝）をお願いしたい。 ・二間手の人がもっと多く来るのかと思ったが期待外れだった。	60代・男性
6	・他市町村をあっとするような施策を持ち出して郡上市として地位を確立して移住者がたくさん集まる場所を郡上市、郡上市を選んでもらえる市になってもらいたい。	60代・男性
7	・長期停電、倒木による停電が多かった。杉の木の手入れで雪とかの倒木も少なくなると思うので、手入れをしてもらいたい。枝打ちなどを電線の近くだけ行う。	60代・男性
8	・この時期の開催であったら、午後7時開会してもよいのではないかと。 ・議会側の開会のあいさつが長すぎる。行政視察報告については、文書でされると良い（3人あいさつで30分かかった）	70代・男性
9	・次期は、適当であったと思う（秋祭りが終わったころ）	60代・男性
10	・話が長い人が多い、話題が広がってしまい、まとまらない。一つ一つは良い意見があった。	50代・男性
11	・今日のように地域の中で行うことは良いと思う。	70代・男性

(和良会場) 上土京集会所

番号	意 見	年代・性別
1	・次期時間は良いと思います。 ・週末が良いと思います"	60代・女性
2	・細かい要望が出てよかった	60代・男性
3	・今回は、土京地方の出席者が多く意見発言が出た。今後は和良 15 地区を巡回してほしい。	70代・男性
4	・議員と親近感を深めることができて良かった	60代・男性

避難等の状況

(八幡会場) 相生公民館

番号	意 見	年代・性別
1	・すべての台風の時に避難所を見回った。	60代・男性
2	・避難所の運営をした。	50代・男性
3	・せめてテレビ等情報源が必要である。	60代・男性
4	・スマートフォンの配信が便利でよくわかった。音声告知端末はよく聞き取れなかった。	50代・男性
5	外出で役場からの電話にて情報を貰った。	60代・男性

(大和会場) 大和西公民館

番号	意 見	年代・性別
1	・消防活動の為。	50代・男性
2	・避難したが、大変寝づらかった。	50代・男性
3	・ケーブルTVの字幕放送だけでなく、生のアナウンスで知らせる方法があると良い。	50代・男性
4	・自治会役員なので、召集された。	50代・男性
5	・避難所開設にあって、運営の協力を行った。	60代・男性
6	・消防団員として活動したため、年寄を連れていくことができなかった。	60代・男性
7	・自主判断である為、避難させるか葛藤があった。	60代・男性
8	・避難の開設・運営をしました。	60代・男性
9	・避難所を開設のために、地区役員として動きました。	60代・男性
10	・自分よりも、もし何かあった場合には迷惑がかかると思い避難した。	70代・男性
11	・避難場所が遠くて時間を要すること、交通便が悪いので避難を見送った。	70代・男性

(白鳥会場) 中西区民センター

番号	意 見	年代・性別
1	・避難所へたどり着く前に水害などで遭難しそうだった。	60代・男性
2	・避難所を開設した。	60代・男性
3	・役員のため避難所を開所、閉所まで詰めた・子どもの家へ避難。	70代・男性
4	・子どもの家へ避難。	60代・男性

(高鷲会場) 向鷲見集会所

番号	意 見	年代・性別
1	・家に帰った。近所の高齢者が気になった。	60代・女性

(美並会場) 健康福祉センターさつき苑

番号	意 見	年代・性別
1	・自身は避難しませんでした。自治会長として、地元の方が避難しているか確認に行きました。(7月と9月)	60代・男性
2	・当家は、暴風時でも、それほど風吹きが強く当たらない。大雨時でも、川と離れている。以上の理由で避難をしなかった。 郡上アプリが主。	70代・男性
3	・6月28日避難した。9月4日台風21号は、夜間のため避難しなかった。 9月4日台風21号は、ケーブルテレビがストップし、防災無線が大雨と風で聞き取りにくかった。	60代・男性
4	・避難率が高いことを「良し」とする考えが普通なのか、自宅の方が安全で環境が良いという判断は、どうとらえられるのか。自己判断が出来る教育、学びの場が必要なのではないか。	50代・男性

(明宝会場) んくもりの家

番号	意 見	年代・性別
1	・地域の公民館に行った。自分の近いところに行くと思った。	60代・男性
2	・近所の方(女性)1人住んで見える方が、怖がって私の家へ見えたので、避難所へ行けなかった。何かあると私の家へ見える、自主避難のやり方を郡上市民全体があまり知らないのでは。	60代・男性
3	・もう少し、しっかりと避難の指導とかをして欲しかった。一部住民しかしていなかった。全員が出来るように徹底してほしい。 聞き取れたけど、いまいち避難していいのかわからず避難が出来なかった。	50代・男性
4	・避難施設にエアコンがないため、年寄の人、子供など熱中症にかかる可能性があり、避難できない。設備の充実をお願いしたい。	50代・男性
5	・避難しなくてもいいと家族が判断しました。	60代・男性
6	・メールで知った。	50代・男性
7	・避難所の開設を行った。	70代・男性

(和良会場) 上土京集会所

番号	意 見	年代・性別
1	・郡上東中学校に避難した。	70代・男性
2	・自宅が谷の横にあり、土石流危険地域に指定されているため、自治会の避難所は谷の近くにあり、郡上東中学校へ行った。	60代・男性
3	・避難所が床下浸水した。一時避難所が私の家になっている。	60代・男性
4	・6月28日に避難した。	60代・男性

